

快適空間便り

～ 緑 ゆたかな街づくり～

平成 27 年
9 月 18 日③
編集・発行
見附市建設課
景観緑花係

街を歩いていて、道路脇など綺麗に管理された草花を見かけることはありませんか。それらの中には地域住民の方々や市民団体、企業がボランティアで緑化活動に取り組まれている場所も多くあります。

見附市では市民とともに、美しい景観や歩きたくなる空間づくりを目指して「快適空間づくり事業」を推進しています。現在、58 団体 728 名がボランティア活動をしています。活動団体の中から、2 団体をご紹介します。

梨の木会

(見附市島切窪町)

見附中学校から島切窪町方面に道路を下っていくと、三叉路をきれいに彩る花壇があります。

こちらの花壇は「梨の木会」(代表 源川房子さん)の皆さん、島切窪町の女性部 10 名のメンバーが管理しています。

特に活動日を決めているわけではなく花壇の状態を見て、そろそろかな…と声をかけ合って集まるそうです。このような方法で活動できるのも、仲の良さがなせるワザですね。

春の耕運、マルチかけ…。全て女性で行います。「畑仕事の延長だからそれほど大変ではないのよ。」とおっしゃいますが、当初は土の状態も悪く、苦労も多かったそうです。長年の手入れで今の状態になりました。

作業後は近くの日陰で花壇を眺めながら、茶話会をします。

一緒に作業し、おしゃべりする。それが楽しみで、みなさん集まるそうです。会長の源川さんのきめ細やかなサポートとそれに応えようとするメンバーの、とても温かいチームワークが感じられました。



サルビアが元気に咲いた花壇



梨の木会の皆さん

金井町コミュニティ広場を愛する会

(本町 1 丁目 5 区)

東屋にはゴミは 1 つもなく、テーブル、イスはいつもピカピカです。「お昼を食べたり、子どもの遊び場になりますから、汚れた状態にはしておけません。」と語る西澤さん。広場には花壇が 3 つがあり、一年草、宿根草、バラとタイプ別に植えられています。花壇のない場所は除草もしっかりされています。



西澤敬之輔さんと今が見頃の日々草

きれいに管理された広場とバラの花壇(奥)

広場には工夫がたくさんあります。花壇のマルチは 2 重にし、杭でしっかり止めておくことで長持ちします。もう 5～6 年も使っているそうです。

一年草も最初空けた穴の使い廻しとの事ですが、近くで見ても全くそのようには見えないほどきれいです。

ホースは目立たないように広場に這わせ、分岐させ、数力所から水やりができるようになっていきます。ホースの保管も引っかけの場所を作り、出し入れの手間もかからず、見た目にも清潔感があります。このようなアイデアや工夫があるからこそ、いつも美しい状態の広場が保たれているのですね。

ご紹介した 2 団体は、地域緑化活動を 10 年以上も続けていらっしゃいます。今後も緑化活動に取り組む団体をご紹介していきたいと思っております。また、「快適空間づくり事業」に取り組みを希望される団体を随時募集しています。お近くの道路脇、植樹帯、コミュニティ広場等を素敵な空間にしてみませんか。

～「快適空間づくり事業」のご案内については、裏面をご覧ください～

※ 市、県道沿いの植樹帯については、地先住民、ご家族など、個人での活動申込みができます。お家の前の街路樹をきれいなお花で飾りませんか？